

ガザ情勢が中東・国際政治に与える影響

千葉大学法政経学部教授
酒井啓子



- * 繰り返されるイスラエルとガザの衝突
- * ハマスが「脱獄」に向かった事情
- * まったく不透明な紛争終結後の姿
- * 歴史的なオースロ合意後も紛争状態続く
- * 過去のイギリス外交が対立の原点
- * ユダヤ人国家建設に至るまでの経緯
- * 追い出されても行き場のないパレスチナ人
- * 始まった抵抗運動インティファダ
- * 自治政府の選挙で勝利したハマス
- * 方針が一貫していない日本の対応

山縣 それでは開会いたします。（拍手）

酒井先生のご紹介をさせていただきます。今回は急遽、ガザ地区のあのような事態になりましたので、大学のほうでお忙しいところご無理を言ってお登壇いただくことになりました。先生、ありがとうございます。

先生は皆さんご存じのように東京大学で国際関係論を学ばれた後、アジア経済研に行かれて、それから東京外国語大学大学院の教授をされて、今現職にあられます。

今回のことにつきましては、先生に来ていただいて急遽お話しただくのが最適と思っております。ご無理をお願いした次第です。今日は歴史も踏まえまして、ガザ地区の大きな悲劇的な問題がどうして起きているのか、また、今後どう

考えていくべきなのか、先生のお話をベースに皆様と考えていただければと思っております。先生、ひとつよろしくお願いいたします。（拍手）

繰り返されるイスラエルとガザの衝突

酒井 たいへんご丁寧な紹介ありがとうございます。ただいまご紹介にあずかりました千葉大学の酒井でございます。

この会場に来させていただきましたのは、コロナもありましたので久しぶりでございますけれども、中東で何かが起こるたびにこちらに邪魔して何かお話をすることになっております。今回はご存じのようにガザでのイスラエルによる報復戦争が長く続いているという、